

第8回豊岡市基本構想審議会 意見対応

NO	ページ	基本構想に係るご意見	対応
1	3	長期的視点の中に課題が入っているのは違和感があるので、社会潮流は第2章に組み込んだほうが良いのではないかと。	長期目標を達成するための阻害要因であり、その解決手段として基本構想を策定するものであるため、現状の位置としています。
2	3	社会潮流の災害のところ、ハード整備とソフト面の充実が書かれているが、一番の課題は地域の防災をいかに高めるかなので、そこはぜひ加えてほしい。	「地域防災力を強化する必要がある」ことを記載しました。
3	3	(3)の後半も「人口減少の要因そのものに手をつけ」と書いてあるが、具体的な記載が必要なのではないかと。	「若者層の大幅な転出超過及び未婚率の上昇に目を向け」と記載しました。
4	4	5のA Iの内容がちょっと大きすぎるのではないかと。A Iの前にインターネットの影響の記載が必要ではないかと。	ここは、「人間の役割の劇的な変化」に直接影響があると言われているAIとロボットに限定した記述としています。 ご指摘の部分は、(4)で「情報通信ネットワーク」として記載しました。
5	4	(5)の「不要な職種」とか「取り換え不可能」とか、人に対する表現として配慮が必要ではないかと。	この潮流が看過できないものであり、次の文節をより際立たせるために、あえて前段に表記しています。 「取り換え不可能」は、「かけがえのない」に修正しました。 【参考】民間の政策研究機関によると、人工知能(AI)やロボット技術が社会に普及すると、新たに500万人の仕事が創出される一方で、740万人の仕事がなくなり、差し引きで240万人の仕事が減少するという予測がされています。
6	5	基本構想とは何かというのが、読まないといけないので、冒頭にわかるような端的な説明を入れてほしい。	ご指摘のとおり修正しました。
7	6	「めざすまちの将来像」と基本目標の戦略目的と同じなのか違うのか定義がわかりにくく、めざすまちの将来像は小さな世界都市と捉えてしまうのではないかと。	「戦略目的」とし、その説明として「めざすまちの将来像」としました。

NO	ページ	基本構想に係るご意見	対応
8	6	めざすまちの将来像の下に6つ「小さな世界都市を実現するために達成すべき状態」とあるが、「状態」という表現がよくわからない。	「小さな世界都市になるための条件」に改めました。
9	6	できたら「小さな世界都市を実現するために達成すべき状態」の7番目としてみんなが幸せを感じられるまちという表現を入れてほしい。	「みんなが幸せを感じられるまち」が長期目標であるため、2ページに具体表記を加えました。
10	6	めざすまちの将来像の下に6つ「小さな世界都市を実現するために達成すべき状態」のところに基本姿勢を書いたほうがわかりやすいのではないかと。	基本姿勢に記載した項目を「主要手段」と「まちづくりの進め方」の中に取り込んだため、「第4章 まちの将来像の実現に向けた基本姿勢」を削除しました。
11	5～8	重複した内容という印象を受けるので、将来像のあとにまちの将来像実現に向けた基本姿勢をいれて、その後に主要手段としたほうが良いのではないかと。	同上。ご指摘を受け修正しました。
12	6, 7, 8	達成すべき状態と主要手段については内容が同じであるが言葉が違うのでわかりづらい。	表記を修正するとともに、7ページ下段で定義を明確にしました。
13	7	2桁、4桁の表現は必要なのか。よくわからない。	表記を修正しました。
14		基本姿勢の1番と3番が重複しているので、「受け継いできたものを磨き未来に引き継ぐ」と一文にしてはどうか。	基本姿勢に記載した項目を「主要手段」と「まちづくりの進め方」の中に取り込んだため、基本姿勢を削除しました。(No10, No11と同じ)
15		イメージ図の「包む」の表現がよくわからない。	基本姿勢を削除したため、イメージ図についても削除しました。
16	8	「コウノトリも住める」の「も」の上の点は不要ではないかと。	ご指摘のとおり修正しました。
17	11	3(1)4行目は、「子どもたちが豊岡で世界と出会う」の誤りではないかと。	同上。

NO	ページ	基本構想に係るご意見	対応
18	12	<p>以下の表現について改めたほうが良いのではないか。</p> <p>※リベラルはわからないので自由でよし、文章の6行目の「・・・違いを乗り越えていく習慣が根付けば」については、乗り越えなくても受け入れてもらえば良いし、「習慣が根付けば」も毎日トレーニングみたいなそんな気がしてイメージが違う。有事の際はという書き方ではなくて、既に日ごろから当たり前のこととして受け入れるというような表現にしたほうがよい。「組織の活力の源になります」も、源ではなくてまちの力として根付いていくものだと思う。「折り合いをつけながら」という表現も妥協案、マイナスイメージの表現が強いので、お互いに尊重し合って共生するまちのほうが前向きで良い。</p>	<p>1 リベラルがわからない 「自由」への置き換えを検討しましたが、適切な日本語表記がないため、6ページに注釈を入れました。 <u>リベラルな気風…寛容な態度を取ることを当然のあり様として認め合っていること。</u></p> <p>2 違いを乗り越えていく習慣が根付けば・・・ ご意見の「お互いに尊重し合って共生するまち」は、到達点の姿として実現したい状態です。 現状、その到達点に至るまでに、具体的に前に進もうとしたときには、一方に有利な結論を出すのではなく、議論の末にお互いが納得し、折り合いをつけて、次へと進むことが重要であるとして記載しています。 コウノトリ野生復帰の取組みは、対話によって折り合いを付け、広がってきました。</p>
19	12	<p>4（1）に関しては豊岡市だけではなく、「日本は」という主語でも読める内容なので、例えば豊岡市が取り組んでいる多文化共生のハードの部分も触れてほしい。</p>	<p>多文化共生の取組み例を下段に記載しました。 多様性は、多文化共生も含めた広い取組みが必要であり、今後の可能性として記載しています。</p>
20	13	<p>「労働者側への分配」という表現は、経営者と労働者の対立ではないので改めたほうがよい。 豊岡全体で産業の活性化がなぜ必要なのかといえ、人口減少を食い止めるためだと思うので、その要素を入れたほうが良いのではないか。例えば、所得格差が人口減少につながっているのもそのあたりのニュアンスとして、全体を底上げして地域の活力の維持をしていくという表現にしていきたい。</p>	<p>ご指摘のとおり修正しました。 「市内産業の高付加価値化によってもたらされる利益を、まち全体で享受することができれば、豊岡市で働くことの価値が上がり、優れた人材確保にもつながります。」</p>

NO	ページ	基本構想に係るご意見	対応
21	14	人口減少に歯止めをかけるのは教育だと思うので、教育の表現も少し深めてほしい。	ご指摘のとおり修正しました。
22	14	6の項目の内容についてしっかり書いていただきたい。「身に付けた知識や技術が急速に陳腐化」という表現ではなく、子どもたちに対する明るい未来についても書いていただきたい。	ご指摘のとおり修正しました。 地方創生総合戦略の手段と整合させました。
23	14	豊岡ならではの自然を生かした子どもの育て方について記載しても良いのではないかな。	ご指摘のとおり修正しました。
24	14	事例などもコラムなどで表現しても良いのではないかな。	主要手段の下段に関連する取組例のコラムを追加しました。
25		4月1日から始まったコミュニティ政策のなかでどのように進めていくのか、今後指定管理に移行するなかで、コミュニティがどのような役割を担っていくのかについても示してほしい。	12ページに地域コミュニティの現状と今後の方向性などを記載しました。 14ページにも先進的な取組みの例として加筆しています。
26	4章	全体のバランスを考えて等配分となるように記載したほうが良いのではないかな。	ご指摘のとおり修正しました。
27	全体	前回とかなり内容が違っており、前回指摘したことがあまり入っていない気がする。	ご指摘を踏まえ、再調整しました。
28	全体	飾り言葉が独り歩きしているところが結構あり、わかりづらい。	同上。
29	全体	できるだけわかりやすい表現にするとともに、どうしてもわかりづらい表現については、用語解説を付けたほうがよい。	ご指摘を踏まえ、再調整しました。 なお、表記を改めることが難しい部分は、用語解説を下段に加えしました。
30	全体	片仮名表記は人によっては意味が違ってしまうのでわかりにくいのでわかりやすい表現にしてほしい。	同上。
31	12	市の3分の1が高齢者、20年後は4割になるということで、高齢者を社会の一員としての社会参画を働きかけるような施策が必要なのではないかな。	高齢者の方々にも、まちの原動力となっていただく重要な役割があります。 直接的な表記ではありませんが、「多様性がまちの原動力になっている」の中で、「年齢差」という文言で表記をしています。